

令和 8 年度  
業 務 概 要

新潟県中越家畜保健衛生所

〒949-7413

新潟県魚沼市堀之内 2914-2

電 話 (025)794-2121

FAX (025)794-5400

E-mail [ngt066040@pref.niigata.lg.jp](mailto:ngt066040@pref.niigata.lg.jp)



# 目 次

## 中越家畜保健衛生所の概要

I 沿革	1
II 施設	1
III 組織及び職員	1
IV 管内の状況	2
1 所管区域	
2 管内の畜産関係施設	
3 畜産の概要	

## 令和8年度家畜衛生関係事業

I 令和8年度事業推進方針	4
1 基本的な考え方	
2 主要推進事項	
3 具体的な重点指導事項	
II 令和8年度事業計画	5
1 家畜伝染病予防事業	
2 家畜衛生の推進	
3 放牧衛生対策	
4 動物薬事、獣医事	
5 家畜改良増殖対策事業	
6 一般畜産指導等	

## 令和7年度事業成績

I	家畜伝染病予防事業	9
	1 検査等	
	2 牛の検査成績	
	3 豚の検査成績	
	4 鶏の検査成績	
	5 病性鑑定実施状況	
II	家畜衛生の推進	14
	1 監視体制の整備	
	2 家畜衛生対策による生産性向上の推進	
	3 畜産物の安全性向上	
III	畜産物の安全性確保	17
IV	特定家畜伝染病危機管理対策強化事業	17
V	放牧衛生対策及び動物薬事、獣医事	17
	1 放牧衛生対策	
	2 動物薬事指導対策	
VI	家畜改良関係	18
	1 家畜人工授精関係	
	2 にいがた和牛レベルアップ推進事業	
	3 種畜検査	
VII	一般畜産指導	19
	1 経営技術高度診断指導	
	2 地域養豚生産性向上対策	
	3 家畜共進会出品家畜等指導	
	4 農業共済組合事業に対する協力及び家畜衛生指導	
VIII	調査研究	20

## 参考資料

	家畜衛生関係手数料一覧	21
--	-------------	----

# 中越家畜保健衛生所の概要

## I 沿革

昭和 24 年 (1949 年)	新潟県条例により「堀之内家畜衛生指導所」を堀之内町大字堀之内与五郎新田に、「柏崎家畜衛生指導所」を刈羽郡荒浜町に設置
昭和 25 年 (1950 年)	家畜保健衛生所法の制定に伴い、「堀之内家畜保健衛生所」、「柏崎家畜保健衛生所」に名称を変更
昭和 27 年 (1952 年)	新潟県家畜保健衛生所設置条例の改正により、各郡にそれぞれ三島、古志、刈羽、北魚沼、南魚沼及び中魚沼家畜保健衛生所とする。
昭和 42 年 (1967 年)	家畜保健衛生所の広域再編整備のため県条例の改正により、三島、古志及び刈羽家畜保健衛生所を統合して「中越家畜保健衛生所」とし、北魚沼、南魚沼及び中魚沼を統合し「魚沼家畜保健衛生所」とする。
平成元年 (1989 年)	新潟県家畜保健衛生所設置条例の改正により、中越及び魚沼家畜保健衛生所を統合し「中越家畜保健衛生所」と改称。

## II 施設

### 1 用地 (2,155.35 m<sup>2</sup>)

事務所用地 (魚沼市堀之内地内)	1,823.39 m <sup>2</sup>
解剖室兼焼却炉用地 (魚沼市徳田地内)	331.96 m <sup>2</sup>

### 2 建物 (540.95 m<sup>2</sup>)

本 館 鉄筋コンクリート	159.75 m <sup>2</sup>
実 験 棟 鉄筋コンクリート	305.78 m <sup>2</sup>
車 庫 鉄骨建	29.16 m <sup>2</sup>
解剖施設 鉄筋コンクリート	46.26 m <sup>2</sup>

## III 組織及び職員

所長	課	主な事務分担	職 名	氏 名
太田 洋一	企画指導課	総 括	課長	(次長兼任)
次長 篠川 温		・予算、文書、その他庶務全般	主査	佐藤 彩子
		・家畜の衛生対策、企画調整	副参事	権田 寛子
		・動物薬事、獣医事 ・家畜衛生情報、統計 ・家畜の飼養衛生管理指導	主査 獣医師 主事	今井 杏子 先山 英伶奈 櫻井 裕子
	防疫課	・家畜の伝染病予防 ・家畜の病性鑑定 ・放牧衛生 ・定例報告、資材管理	課長 副参事 副参事 主査	竹内 智胤 鈴木 一徳 中村 正明 安野 僚太郎

## IV 管内の状況

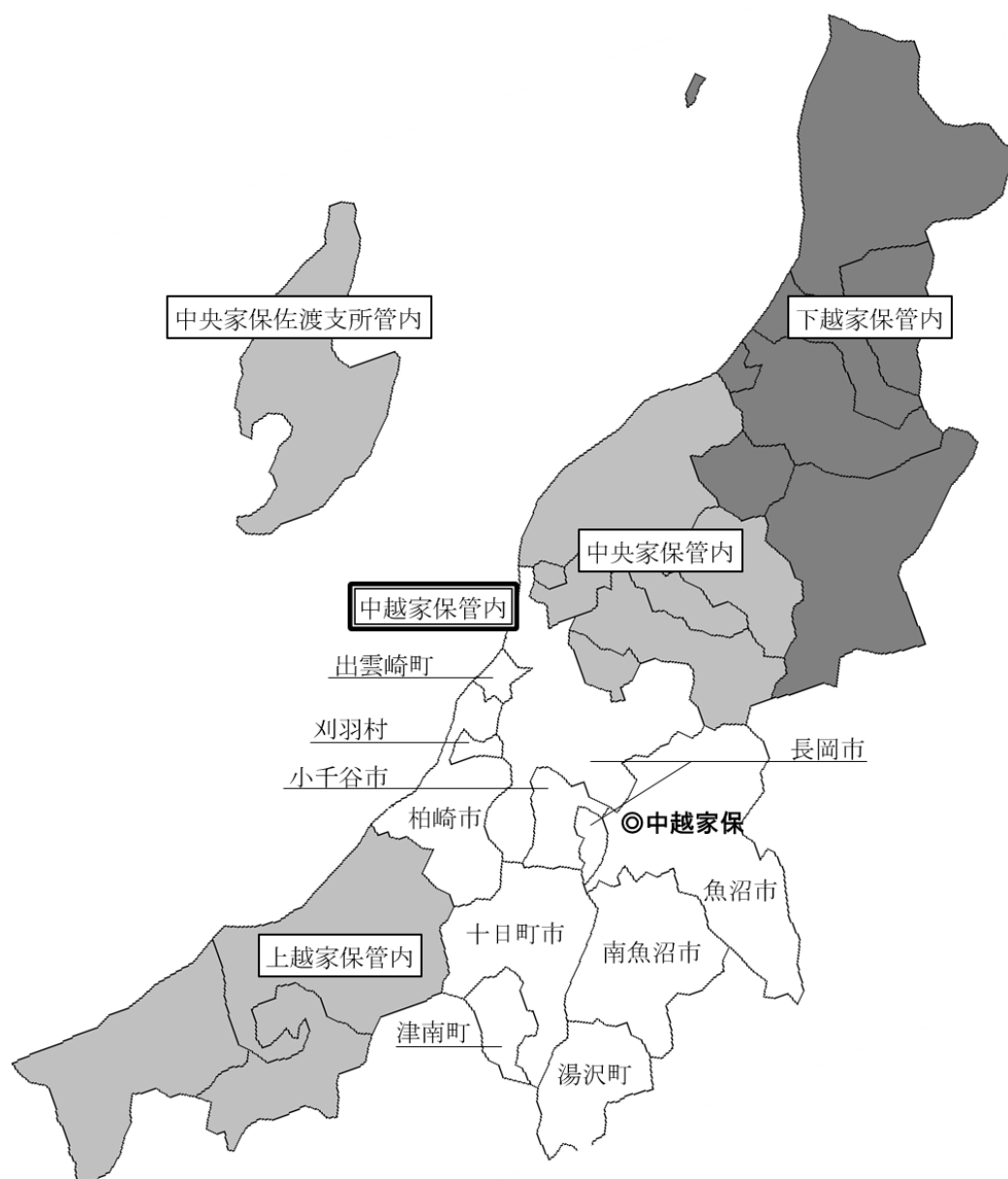
### 1 所管区域 (6市3町1村…面積 4208.13km<sup>2</sup>)

長岡市・小千谷市・柏崎市

魚沼市・南魚沼市・十日町市

中魚沼郡津南町・南魚沼郡湯沢町・三島郡出雲崎町・刈羽郡刈羽村

中越家畜保健衛生所管内図



## 2 管内の畜産関係施設

施設名		数	施設名		数
県 機 関	地域振興局	5	加工 施設	牛乳加工工場	2
	乳用牛育成牧場	1		GP センター（鶏卵選別包装場）	2
	食肉衛生検査センター	1		と畜場	1
団 体	総合農業協同組合	3		化製場	1
	専門農協等	1	動物用 医薬品 店舗販 売業等	医療機器修理業	3
	農業共済組合(支所)	2		動物用医薬品店舗販売業	2
	中央家畜市場	1		動物用医薬品卸売販売業	2
家 畜 診 療 所	個人開業	6		動物用医薬品特例店舗販売業	48
	団体等	2		高度管理医療機器等販売・賃貸業	3
			管理医療機器等販売・賃貸業	2	

## 3 畜産の概要

当所の管内は新潟県のほぼ中央部であり、福島県、群馬県及び長野県と接し、長岡市及び柏崎市に平野部がある他はほとんど中山間地に位置している。管内は広域で長岡、柏崎、魚沼、南魚沼、十日町の5地域振興局に及ぶ。

乳用牛は湯沢町と刈羽村を除く市町で、肉用牛は主に長岡、柏崎、南魚沼、十日町地域で飼養されている。豚は主に長岡、魚沼、十日町地域で飼養されており、中小規模の農場が主体となっている。

鶏は主に柏崎地域で採卵鶏、肉用鶏及び種鶏と多岐に渡って飼養されている。各畜種の戸数・頭数とも年々微減する傾向がある。

関連施設では、津南町に県営の乳用牛育成放牧場、長岡市に民営の食肉センター、家畜市場及び死亡獣畜の化製処理施設がある。

# 令和8年度家畜衛生関係事業

## I 事業推進方針

### 1 基本的な考え方

畜産経営の持続的な発展と安全・安心な畜産物の安定供給に向け、家畜伝染病の発生予防及びまん延防止体制を充実させることで生産基盤の強化を図るとともに、生産性の向上やコスト低減に資する衛生対策を推進し、環境と調和した収益性の高い畜産経営体の育成に努める。

### 2 主要推進事項

#### (1) 家畜伝染病の発生予防とまん延防止体制の強化

家畜伝染病の発生予防のため所有者に対して飼養衛生管理基準の遵守を徹底する。

飼養豚への豚熱ワクチン接種とその効果確認を行うとともに、野生イノシシの豚熱・アフリカ豚熱の検査を実施する。

防疫計画の再点検、関係機関等との連携・協力並びに防疫訓練等を実施し、危機管理体制とまん延防止体制の強化を図る。

#### (2) 畜産経営の生産性向上及びコスト削減

生産性を阻害する疾病について各農場の検査等を実施し、その結果に基づく技術指導により衛生対策の改善・高度化やコスト低減を図る。また、季節環境に応じた飼養管理を徹底することで繁殖成績及び乳量・増体成績の維持向上を図る。

### 3 具体的な重点指導事項

- ・ 豚熱ワクチンの適時適切な接種
- ・ 農場への病原体侵入防止対策の徹底
- ・ 乳房炎防除対策等による乳質改善指導
- ・ 牛伝染性リンパ腫の浸潤状況調査と清浄化対策
- ・ 豚繁殖呼吸障害症候群（PRRS）清浄地域における清浄性の維持と事故率低減対策
- ・ 妙法育成放牧場の衛生対策（ピロプラズマ病、牛伝染性リンパ腫等）
- ・ 肥育期間中の血中ビタミンA濃度測定による「にいがた和牛」の飼養管理指導
- ・ 受精卵移植技術を活用した「にいがた和牛」の生産振興

## II 令和8年度事業計画

### 1 家畜伝染病予防事業

家畜伝染病予防法に基づき、監視伝染病の発生予防とまん延防止のための検査・調査を実施する。鳥インフルエンザ、口蹄疫、豚熱等の発生時に迅速かつ的確な防疫対策が講じられるよう家畜飼養者をはじめ獣医師、市町村、関係機関等と連携し家畜防疫体制の強化を図る。

区分	事業名	R8 計画	R7 計画	比較 増減	事業内容	
牛	牛海綿状脳症(BSE)				月齢問わず特定症状牛、BSEが否定できない症状を呈する牛	
	ブルセラ症				・病鑑牛(流死産)についてブルセラ症の検査	
	ヨーネ病	190	200	△ 10	・県外から導入した搾乳目的の牛及び肉用繁殖牛のうち過去に県内で検査したことのない牛 ・R2年生まれの乳用牛、肉用繁殖牛	
	牛伝染性リンパ腫	740	740		・妙法育成牧場の清浄性確認、上牧前検査 ・清浄化取り組み農場の対策の検証	
	牛ウイルス性下痢	650	34		・酪農場のバルク乳による清浄性確認検査 (R7計画は農場戸数、R8計画は頭数)	
	牛サルモネラ症	81	130	△ 49	酪農場(各2～5頭)	
	アカバネ病 (吸血昆虫媒介疾病の定点 検査)	48	48		4農場(各3頭)×4回 (6月下旬、8月中旬、9月下旬、11月中旬) 新潟県の対象疾病はアカバネ病のみ(R3～)	
	ピロプラズマ症	130	130		妙法上牧牛(中間30、終牧100、Ht値の低い牛)	
	牛伝染性疾病検査	2,600	2,600		口蹄疫、BSEなど重要疾病を念頭に、臨床検査と衛生指導を実施	
豚	豚熱					
	ワクチン接種	81,000	81,000		管内の飼養豚へのワクチン接種	
	免疫付与状況確認	1,230	1,030	200	ワクチン接種豚の抗体検査	
	オーエスキー病 (全国サーベイ分)	210	210		15農場×14頭	
豚繁殖・呼吸障害症候群 (PRRS)	300	300		サーベイランス90頭、陰性農場168頭(16戸×8頭×2回=88)、陽性農場42頭 清浄農場及び浸潤農場の状況確認検査		
豚伝染性疾病検査	24,000	24,000		口蹄疫、豚熱など重要疾病を念頭に、臨床検査と衛生指導を実施。		
鶏	ニューカッスル病(ND)	10	20	△ 10	抗体保有状況を把握し、適切なワクチン接種を指導	
	鳥インフルエンザ	定点	120	120		3農場×10羽×4か月(6～9月)
		強化	20	20		2農場×10羽(4～5月、10～3月)
鶏伝染性疾病検査	45,000	45,000		鳥インフルエンザ、ニューカッスル病など重要疾病を念頭に、臨床検査と衛生指導を実施		
馬	馬伝染性疾病検査	5	10	△ 5		
羊	羊伝染性疾病検査	10	6	4	伝達性海綿状脳症などの臨床検査と衛生指導	
蜜蜂	腐蛆病	300	340	△ 40	県外転飼;4件250群、 定飼(魚沼、小千谷、南魚沼);10件50群	
病性鑑定		40	50	△ 10	疾病発生時に迅速・的確に病性を診断し、まん延防止を図り、効果的な衛生対策を指導	

## 2 家畜衛生の推進

### (1) 監視体制の整備・強化

家畜伝染性疾病の監視体制を強化し、事前対応型の防疫体制を構築する。

#### ア 家畜衛生対策推進会議の開催

家畜衛生対策事業を円滑かつ効率的に実施するため、推進会議を開催する。

(令和8年5月27日開催)

#### イ 家畜衛生関連情報の整備

##### (ア) 情報収集

農場巡回により、各種調査及び情報の収集・提供を行う

対象農場(101戸)：酪農27戸、肉用牛31戸、養豚26戸、採卵鶏11戸

肉用鶏4戸(にいがた地鶏含む)、特用2戸

##### (イ) 広報の発行

「家畜衛生だより」による情報(疾病発生状況、飼養衛生管理等)の提供

発行部数：138部(農場、市町村、関係機関)、3回/年

##### (ウ) 防疫マップの整備

家畜伝染病発生時に円滑な防疫対応が取れるよう、農場の位置を記入した防疫マップを作成し、随時更新する。

### (2) 家畜伝染性疾病の発生予防

#### ア 飼養衛生管理水準の向上

家畜所有者の飼養衛生管理の改善・向上に資する家畜衛生情報の周知や広報及び必要な知識や手法の普及・啓発を行うための現地指導等を行う。

#### イ 発生予防の体制整備(生産性を低下させる疾病の低減)

継続的・断続的に発生が見られる疾病について清浄性の実現又は維持を図るための検査等を実施し、地域の実情に即した衛生対策を検討、実施する。

対象農場：牛 3戸、豚 3戸

#### ウ 家畜の伝染性疾病のまん延防止

特定家畜伝染病の発生に備え地域振興局単位で防疫訓練を開催し、作業リーダーを育成するとともに、講習会や広報活動等により作業従事者や家畜の所有者等に対し正しい知識の普及を図る。

### (3) 畜産物の安全性向上

#### ア 動物用医薬品の危機管理

動物用医薬品の使用実態及び品質確保、薬剤残留、薬剤耐性菌に関する情報を収集し、医薬品の使用に起因する危害発生を防止する。

- ・薬剤感受性検査：対象戸数：4戸 対象菌：サルモネラ、黄色ブドウ球菌
- ・使用実態調査：対象戸数：10戸

#### イ 生産衛生管理体制の整備（農場HACCPの推進）

（公社）新潟県畜産協会が認定している「畜産安心ブランド生産農場」に対して定期的に衛生検査等を実施する。

対象	戸数	検査項目など
酪農	7	食中毒菌（サルモネラ、病原性大腸菌）
肉用牛	13	食中毒菌（サルモネラ、病原性大腸菌）
養豚	15	給与飼料の抗菌性物質残留
採卵鶏	2	食中毒菌（サルモネラ）
肉用鶏	2	食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター）

### 3 放牧衛生対策

妙法育成牧場の放牧牛について、上牧前の牛伝染性リンパ腫ウイルス陰性確認と定期検査等による清浄性維持を図るとともに、ピロプラズマ症をはじめとする各種疾病対策を講じる。

### 4 動物薬事、獣医事

#### （1）動物薬事指導

ア 獣医師等の動物用医薬品使用者と販売業者に対して動物用医薬品の使用と流通が適正に行われるよう監視・指導を行う。

立入対象店舗・営業所

- ・動物用医薬品店舗販売業：2件
- ・動物用医薬品卸売販売業：2件
- ・動物用医薬品特例店舗販売業：48件
- ・動物用高度管理医療機器販売・賃貸業：3件
- ・動物用管理医療機器等販売・賃貸業2件

イ 安全な畜産物の生産を確保するため、家畜飼養者に対し、動物用医薬品の適正使用について啓発指導を行う。

ウ 動物用医薬品販売業の許可等事務を行う。

## (2) 獣医事指導

獣医師法及び獣医療法に基づき、飼育動物診療施設及び獣医師に対する指導を行う。

対象飼育動物診療施設：38施設

## 5 家畜改良増殖対策事業

### (1) にいがた和牛レベルアップ推進事業（受精卵活用型生産拡大対策）

遺伝的能力の高い和牛子牛増産を目的とした本事業で生産者、畜産研究センター、獣医師との連絡調整、技術指導及び採卵凍結処理のサポートを行う。

### (2) 家畜人工授精関連

家畜の生産技術の向上を図るため技術指導及び家畜人工授精師免許証の交付等を行う。

### (3) 家畜人工授精所関連

家畜改良増殖法に基づく施設立入検査及び家畜人工授精所開設許可証の交付等を行う。

### (4) 種畜検査

家畜改良増殖法に基づく種畜の衛生検査等を実施する。  
対象施設等：種雄豚2戸

## 6 一般畜産指導等

### (1) 畜産コンサルタント支援

(公社)新潟県畜産協会が県の委託を受けて実施する経営診断に協力し、受診対象農家に対して助言指導を行う。

### (2) 家畜共進会

地域畜産の健全な発展を図るために開催される各種共進会等に参加し、審査に協力するとともに衛生管理指導を行う。

### (3) 農業共済事業への協力

新潟県農業共済組合が実施する家畜衛生関係事業に対して技術協力を行う。

# 令和7年度事業成績

## I 家畜伝染病予防事業

### 1 検査等

区分	病名(検査法等)	実施件数	陽性	事業内容	
牛	牛海綿状脳症(抗原)	-		管内死亡牛に検査対象無し	
	ブルセラ症(抗体)	0			
	ヨーネ病(抗体)	181			
	牛伝染性リンパ腫	予防事業(抗体)	662	35	農場における対策の検証、対策の改善提案 上牧前及び上牧後の清浄性確認
		協会事業(抗体)	162	19	畜産協会の清浄化推進モデル事業における取り組み:5農場
	牛ウイルス性下痢	バルク乳(PCR)	25		バルク乳によるスクリーニング検査:25酪農場
		血清(PCR)	75	2	上牧前検査、種畜検査、病性鑑定
	牛サルモネラ症(分離)	146		全頭陰性、清浄性を確認	
	アカバネ病(抗体)	45	3	4市町(4農場)各3頭×年4回(期間中に1頭死亡)	
	ピロプラズマ症(塗抹)	152		放牧中の感染状況確認:全例陰性	
牛伝染性疾病検査(臨床)	3,589		家畜伝染病の所見を認めず		
豚	豚熱	ワクチン接種(注射)	76,378		子豚への定期接種、繁殖候補豚への補強接種
		免疫付与状況確認(抗体)	997	789	ワクチン接種による免疫付与状況を確認
	オーエスキー病	全国サーベイ(抗体)	212		全頭陰性、清浄性を確認
		その他(抗体)	61		
	豚繁殖・呼吸障害症候群(PRRS)	予防事業(抗体)	294	1	陰性農場の清浄性確認
		その他(抗体)	81		陽性農場での動態把握、対策支援
豚伝染性疾病検査(臨床)	27,086		家畜伝染病の所見を認めず		
鶏	鳥インフルエンザ	定点(抗体)	120		3農場で月10羽ずつ:6~10月
		強化(抗体)	20		2農場(抗体):4~5月、10~3月
	ニューカッスル病(抗体)	20	20	ワクチン接種による良好な抗体保有状況を確認	
	鶏伝染性疾病検査(臨床)	51,897		家畜伝染病の所見を認めず	
馬	馬伝染性疾病検査(臨床)	5		家畜伝染病の所見を認めず	
羊	羊伝染性疾病検査(臨床)	14		家畜伝染病の所見を認めず	
蜜蜂	腐蛆病(臨床等)	322		転飼:4件292群 定飼:6件30群(長岡、柏崎)	
病性鑑定(病性診断)	牛	23件		牛伝染性リンパ腫、牛コロナウイルス病、牛ロタウイルス病、牛クロストリジウム・パーフリゲンシス感染症等	
	蜜蜂	3件		アカリダニ症等	
	その他	1件		アルパカの関節炎	

## 2 牛の検査成績

### (1) ヨーネ病抗体検査

市町	乳用牛		肉用牛	
	戸数	頭数	戸数	頭数
長岡市	7	38	4	11
柏崎市	1	15	1	1
小千谷市	1	6	0	0
十日町市	1	2	1	2
魚沼市	8	50	0	0
南魚沼市	3	30	1	8
出雲崎町	1	2	0	0
津南町	4	14	2	2
合計	26	157	9	24

検査結果：全頭陰性

### (2) 牛伝染性リンパ腫抗体検査成績

区分	頭数			摘要
	検査	陽性	陽性率	
農場の浸潤状況調査	351	48	13.7%	農場における衛生対策の検証
上牧前検査	26	3	11.5%	県内牧場への上牧前検査
上牧中検査	441	0	0.0%	陰性牧場での清浄性確認
その他	6	3	50.0%	病性鑑定
合計	824	54		

### (3) アカバネ病抗体検査成績

検査対象：4市町(長岡市、魚沼市、柏崎市、津南町) 4農場各3頭について実施

6月	8月	9月	11月	計
0/12 <sup>※1</sup>	0/11	0/11	0/11	0/45

※1 「陽性頭数/検査頭数」で表示 検査期間中に1頭が死亡したため、8月から11頭で実施。

検査結果：期間中、野外ウイルスの動きは認められなかった。

### (4) 牛ウイルス性下痢 (BVD) の PCR 検査成績

検査材料	農場数			頭数			摘要
	検査	陽性	陽性率	検査	陽性	陽性率	
バルク乳	25	0	0.0%	649	0	0.0%	全酪農場を対象に実施
血清	8	1	12.5%	75	2	2.7%	上牧前検査、預託前検査、病性鑑定

血清検体では持続感染牛摘発農場から導入した個体1頭で陽性を確認

### 3 豚の検査成績

#### (1) 豚熱 (CSF) 検査成績

##### ア 抗体検査 (血清)

検査時期	区分	検査戸数	検査頭数	陽性頭数	陽性率
前期 (R7.4~R7.9月)	繁殖豚	18	182	155	85%
	肥育豚	17	299	243	81%
後期 (R7.10~R8.3月)	繁殖豚	22	216	185	86%
	肥育豚	22	300	206	69%
合計			997	789	79%

検査結果：ワクチン免疫付与状況を確認した結果、繁殖豚および肥育豚共に陽性率が低下傾向にある。検査方法の見直しとワクチン接種日齢検討のための調査継続が必要と考えられた。

##### イ 抗原検査 (PCR)

区分	PCR		ELISA		実施市町	陽性内訳
	検査	陽性	検査	陽性		
病性鑑定豚	-	-	-	-	-	-
野生いのしし	107	3	92	36	長岡市、柏崎市、出雲崎町、刈羽村、魚沼市、十日町市、	PCR陽性： 長岡市(3)

検査結果：飼養豚の病性鑑定は実施なし。

野生いのししは、管内 6 市町村 107 頭検査し、長岡市の 3 頭で PCR 陽性を確認された。

全県では管内の他に 3 市 (胎内市、新発田市、新潟市) 15 頭で PCR 陽性が確認された。

#### (2) オーエスキー病抗体検査成績

農場数	頭数	地域
17	273	十日町市、魚沼市、津南町

検査結果：全例陰性で清浄性を確認。

#### (3) 豚繁殖・呼吸障害症候群 (PRRS)

農場数		頭数		地域
検査	陽性	検査	陽性	
21	0	375	0	長岡市、十日町市、魚沼市、津南町、出雲崎町

検査結果：全農場で清浄性を確認。

(抗体陽性事例は PCR と間接蛍光抗体法の実施により陰性と判断)

#### 4 鶏の検査成績

##### (1) 鳥インフルエンザ

定点モニタリング				強化モニタリング		
戸数	回数	検査羽数	結果	戸数	検査羽数	結果
3	4	120	全例陰性	2	20	全例陰性

- ・ 定点モニタリングは3農場について6～9月に抗体検査とウイルス分離を実施
- ・ 強化モニタリングは10～11月に2農場の抗体検査を実施

##### (2) ニューカッスル病抗体検査成績

羽数	10	20	40	80	160	320	640	1280	GM
20	1	1	1	4	4	3	4	2	183.8

検査結果：ワクチン接種による良好な抗体保有状況を確認

## 5 病性鑑定実施状況

(1) 法定伝染病 なし

(2) 届出伝染病

畜種	病名	件数	頭数	死亡	発生市町村
乳用牛	牛伝染性リンパ腫	10	10	2	長岡市(と畜場6、病鑑1)、魚沼市(病鑑3)
豚	豚丹毒	3	3	0	長岡市(と畜場3)
蜜蜂	アカリダニ症	2	5	5	南魚沼市(病鑑2)

(3) 伝染性疾病

畜種	病名	件数	頭数	死亡	検査	発生市町村
乳用牛	牛クロストリジウム・パーフリンゲンス感染症	2	2	2	2	魚沼市、長岡市
	牛ロタウイルス病(C群)	1	1	0	1	津南町
	牛ロタウイルス病(C群)および牛トロウイルス病	1	1	0	1	津南町
肉用牛	牛コロナウイルス病	1	4	0	4	長岡市
	牛コロナウイルス病および牛ロタウイルス病	1	1	0	1	長岡市
	牛ウイルス性下痢 持続感染牛	1	1	0	1	長岡市

(4) その他

畜種	病名	件数	頭数	死亡	検査	発生市町村
乳用牛	その他呼吸器感染症	1	1	1	1	魚沼市
	第四胃膿瘍及び第四胃食滞	1	1	0	1	魚沼市
	疣贅性心内膜炎	1	1	1	1	津南町
	呼吸器病(原因不明)	1	2	0	2	津南町
	下痢症(原因不明)	2	9	0	9	魚沼市、長岡市
肉用牛	その他呼吸器感染症	2	2	2	2	長岡市、十日町市
	原因不明(クロストリジウム・パーフリンゲンスの関与を疑う)	1	1	1	1	長岡市
	原因不明(子宮内感染を疑う)	1	1	1	1	長岡市
	幽門部狭窄による通過障害	1	1	1	1	長岡市
アルパカ	左大腿骨頭靭帯の不全断裂および左股関節の細菌性関節炎	1	1	1	1	長岡市
蜜蜂	原因不明(アカリダニ症否定)	1	30	30	30	南魚沼市

## II 家畜衛生の推進

### 1 監視体制の整備・強化

家畜伝染病の発生予防及びまん延防止、並びに安心・安全な畜産物を供給するため、「飼養衛生管理基準」の遵守指導及び「特定家畜伝染病防疫指針」の周知を徹底し、地域に対応した家畜衛生対策の推進を図った。

#### (1) 推進会議の開催

地域における家畜衛生対策を効率的に推進するために、検討、協議を実施した。

区 分	開催回数	対 象
家畜衛生対策推進会議	1回	国機関、市町村、畜産関係団体、県機関

※ 開催日：令和7年5月22日 開催場所：魚沼市中央公民館中ホール 参集者：24名

#### (2) 監視体制の整備・強化

##### ア 防疫マップの整備

監視・危機管理体制を強化するため、家畜関連情報を防疫マップに蓄積、更新し、効率的な防疫体制の構築に努めた。

##### イ 広報の発行

「家畜衛生だより」を4月、12月及び2月の3回発行し、家畜飼養者及び畜産関係者に配布するとともに、国内外の家畜伝染病の発生状況等をFAXやメール等により通知した。

##### ○ 家畜衛生だよりの内容

号数	発行月	主な内容
204号	令和7年4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度の重点実施事項</li> <li>・韓国で約2年ぶりに口蹄疫が発生!!</li> <li>・R6シーズンの鳥インフルエンザ発生状況</li> <li>・野生イノシシ侵入防止の徹底を!!</li> </ul>
205号	令和7年12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥インフルエンザ～最大限の警戒を～</li> <li>・飼養衛生管理基準の改正・手当金の減額について</li> <li>・台湾で発生したアフリカ豚熱について</li> <li>・畜舎の火災事故を防ぎましょう</li> </ul>
206号	令和8年2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高病原性鳥インフルエンザ～北帰行の警戒を～</li> <li>・韓国の北西部で口蹄疫が発生～昨年4月以来～</li> <li>・定期報告書の提出をお願いします</li> <li>・ハエ対策は発生前からの取組が重要です!</li> </ul>

##### ウ 家畜衛生関連情報の整備

##### 収集農場数

	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	肉用鶏	種鶏
実農場数	27	31	26	8	4	3
延農場数	27	31	26	8	4	3
平均回数	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

## 情報提供

	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	肉用鶏	種鶏	合計
巡回資料 (部数)	11	7	4	2	3	3	30
FAX・郵送 (回数)	3	3	20	33	33	33	125

## 2 家畜の伝染性疾病の発生予防

### (1) 飼養衛生管理水準の向上

家畜伝染病の発生予防及びまん延防止、並びに安全な畜産物を供給するため、「飼養衛生管理基準」の遵守状況調査及び指導を行った。

	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	肉用鶏	種鶏	合計
調査農場数	27	31	26	8	4	3	99

### (2) 慢性疾病等生産性を阻害する疾病の低減

家畜の損耗防止と生産性の向上を図るため、生産現場で問題となっている疾病について必要な調査、検査、疫学調査を実施した。

畜種	実農場数	巡回回数	検査回数	検査検体数	調査疾病名
牛	3	12	16	160	乳房炎、牛伝染性リンパ腫
豚	14	27	26	208	PRRS (豚繁殖・呼吸障害症候群)

### (3) 鶏卵衛生管理体制の整備

鶏卵の生産段階における衛生的な管理体制を確立するため、採卵鶏農場及びGP施設の鶏糞・鶏舎環境材料についてサルモネラに係るモニタリング検査を実施し、農場に対し衛生対策を指導した。

実農場数	検査回数	検査検体数	陽性数
2	4	44	0

## III 畜産物の安全性向上

### 1 動物用医薬品の危機管理

安全な畜産物の生産を確保するため、巡回指導により使用基準が定められている飼料の適正使用を指導するとともに、畜産物における飼料添加物の残留検査及び飼料の安全性監視のための調査分析を実施した。

#### (1) 薬剤耐性菌の発現状況調査

病性鑑定事例の病畜由来材料から分離されたサルモネラ及び黄色ブドウ球菌について、医薬品等の使用に起因する薬剤耐性菌の発現状況調査を計画した。

畜種	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	肉用鶏	種鶏	計
検体採材農家数	0	0	0	0	0	0	0

(2) 動物用医薬品使用実態調査

動物用医薬品の畜産物への残留防止を図るため、畜産農場に対し動物用医薬品の使用実態調査と適正使用について指導を実施した。

調査・指導数：10戸

2 農場 HACCP の推進（畜産安心ブランド生産農場の検査・指導）

（公社）新潟県畜産協会が認定した「畜産安心ブランド生産農場」の衛生レベルの維持・向上を図った。

乳用牛・・・ クリーンミルク生産農場  
 肉用牛・・・ クリーンビーフ生産農場  
 豚・・・ クリーンポーク生産農場  
 採卵鶏・・・ クリーンエッグ生産農場  
 肉用鶏・・・ クリーンチキン生産農場

畜産安心ブランド生産農場 認定マーク



管内の畜産安心ブランド生産農場（令和8年4月1日現在）

畜種	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	肉用鶏	計
認定農場数	7	13	16	2	2	40

調査・検査内容

認定農場の衛生レベル維持のため、記録簿の確認と危害因子（食中毒菌、薬物残留）の検査を実施し、その成績を基に指導を実施した。

畜種	対象戸数	指導戸数	検査・調査内容
乳用牛	7	7	生乳検査成績の監視、記録簿の確認、 食中毒菌（大腸菌 O157・O26、サルモネラ）検査
肉用牛	13	13	記録簿の確認 食中毒菌（大腸菌 O157・O26、サルモネラ）検査
豚	16	16	記録簿の確認、食肉衛生検査を活用した衛生指導 給与飼料の抗菌性物質残留
採卵鶏	2	2	記録簿の確認 食中毒菌（サルモネラ）検査
肉用鶏	2	2	記録簿の確認 食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター）検査

### Ⅲ 畜産物の安全性確保

安全な畜産物の生産を確保するため、巡回指導により使用基準が定められている飼料の適正使用を指導するとともに、畜産物における飼料添加物の残留検査及び飼料の安全性監視のための調査分析を実施した。

畜種	検査農場数	検査材料	検査成績 スクリーニングキット（簡易法）
採卵鶏	2	鶏卵(12個)	陰性
肉用鶏	2	筋肉(2検体)	陰性
豚	5	飼料(15検体)	陰性

### Ⅳ 特定家畜伝染病危機管理対策強化事業

特定家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、鳥インフルエンザ等）の発生時に備え、各地域振興局で防疫訓練を実施した。

＜防疫訓練実施状況＞

振興局	開催日	内容	参加者
十日町	10月9日	集合場所・サポート基地設営実地訓練	57名：振興局、市町、家保
長岡	12月4日	情報伝達訓練	30名：振2興局、家保
柏崎	12月9日	発生事例説明、情報伝達訓練、職員対応訓練	38名：振興局、市村、家保
魚沼	12月25日	発生事例説明、情報伝達訓練、職員対応訓練	12名：振興局

### Ⅴ 放牧衛生対策及び動物薬事、獣医事

#### 1 放牧衛生対策

妙法育成牧場（津南町）の放牧牛について定期的な衛生検査並びに健康管理指導を行い、事故防止と放牧効果の増大に努めた。

利用面積(ha)	上牧頭数	放牧期間	放牧日数	ピロプラズマ原虫検出率
169.9	166	6/5～11/14	163	0%

## 2 動物薬事、獣医事

### (1) 動物薬事指導

「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」に基づく動物用医薬品販売業等の許可事務及び医薬品の適正な流通、使用について監視、指導を実施した。

販売業の区分	販売業者数		立入箇所数
	期首	期末	
動物用医薬品店舗販売業	2	2	1
動物用医薬品卸売販売業	2	2	1
動物用医薬品特例店舗販売業	48	48	11
動物用高度医療機器等販売・貸与業	3	3	2
動物用管理医療機器等販売・貸与業	2	2	2

### (2) 飼育動物診療施設への立入検査

獣医療法等に基づき、飼育動物診療施設への立入を行い、施設の整備状況、動物用医薬品の管理及びエックス線装置の使用状況について調査した。

診療施設数		立入施設数
期首	期末	
39	39	11

## VI 家畜改良関係

### 1 家畜人工授精関係

#### (1) 家畜人工授精師

家畜改良増殖法に基づき、家畜人工授精師の動向調査を実施した。

#### (2) 家畜人工授精所

家畜改良増殖法に基づき、北陸農政局と同行して家畜人工授精所3件の運営状況調査を実施した。

### 2 にいがた和牛レベルアップ推進事業

高品質で効率的なにいがた和牛の生産拡大のため、獣医師、畜産研究センターと協力して、下表のとおり、地域高能力牛保有の受精卵作出を行った。また、受精卵移植技術について技術者に情報提供を行った。

区分	件数	区分	件数
過剰排卵処置	0	受精卵の採取	0
受精卵の凍結	8	受精卵の移植	2

### 3 種畜検査

家畜の改良を計画的に行うため、家畜改良増殖法に基づいた種畜検査を実施した。

畜種	市町村	対象戸数	検査頭数	検査結果
豚	津南町	1	4頭	全頭合格
	魚沼市	1	40頭	全頭合格

## VII 一般畜産指導

### 1 畜産経営技術高度診断指導

(公社)新潟県畜産協会が実施する経営診断に非常勤畜産コンサルタントとして、受診対象農家に対して助言指導を実施した。

対象	戸数	市町村
酪農経営	2	魚沼市
養豚経営	2	津南町、十日町市

### 2 地域養豚生産衛生向上対策

養豚農場で生産性を阻害し、大きな経済的損失をもたらす豚繁殖・呼吸障害症候群 (PRRS) ウイルス (野外株) の撲滅と清浄性を確認するため必要な検査、指導を実施した。

対象 戸数	検査回数 (延べ)	抗体検査		遺伝子検査	
		検査数	陽性数	検査数	陽性数
18	33	292	1	21	0*

※ 抗体陽性の1農場について遺伝子検査を実施した。

### 3 家畜共進会出品家畜等指導

地域の畜産の健全な発展を図るため開催される各種共進会において、衛生指導及び審査等に協力した。

- ・ 令和7年6月13日 令和7年度津南町肉豚枝肉共励会 (長岡市)
- ・ 令和7年9月12日 第23回JA魚沼十日町養豚部会枝肉共進会 (長岡市)
- ・ 令和7年9月26日 令和7年度新潟県子牛共進会 (長岡市)

### 4 農業共済組合事業に対する協力及び家畜衛生指導

新潟県農業共済組合が実施した家畜特定損害防止事業及び家畜検診車の巡回検査によるビタミンA検査 (肉用牛農家12戸)、検診車検査 (酪農家4戸) の検査成績から飼養衛生管理の助言・指導を行った。

## VIII 調査研究（令和7年度新潟県家畜保健衛生業績発表会演題）

### 管内2地域における豚繁殖・呼吸障害症候群対策

○市川雄紀、佐藤香代子

#### 【はじめに】

豚繁殖・呼吸障害症候群(PRRS)の安定化・清浄化には、個々の農場対策に加え、地域全体で侵入防止や封じ込めに取り組むことが重要である。管内は小中規模農場が主体で、豚、飼料や資材等の物流面でも密接な関係を有していることから、PRRSなどの疾病に地域一体となって対策を講じる意識が醸成されやすく、家保は、関係機関と一丸となって防疫対策を推進してきた。本年度、管内一つの肥育農場を除き清浄化が図られたところであり、今回2地域の取組について報告する。

#### 【A地域の取組】

A地域（1市4農場）のうち、野外株の浸潤が確認されていた同一養豚団地内の一貫経営2農場に対し、清浄化指導を実施した。車両動線、消毒、野生動物対策等の衛生管理をルール化・徹底するとともに、ステージ別抗体検査によりウイルス動態を把握し、ワクチン接種適期を確認した。平成29年度に子豚への生ワクチン接種と血液・口腔液によるモニタリングを開始した結果、両農場とも約1年で野外株はワクチン株に置換された。その後、ピッグフローに逆行しない作業順序徹底等によりワクチン株清浄化を進め、モニタリングを継続した。令和6年度に1農場が廃業し、残る1農場は令和7年度に清浄化を達成した。

#### 【B地域の取組】

B地域（1市1町14農場）は、全国的なオーエスキー病流行を契機として、家保、地域診療所、JAを含む地域防疫組織が平成元年に設立され、地域一体となった防疫対策が行われており、地域すべてが陰性農場であった。清浄性維持のため、組織所有の共同隔離豚舎での検疫と、定期的な血液モニタリングによる清浄性確認を継続してきた。さらに、検査で擬陽性が確認された場合には、即時に情報共有を行うことをルール化した。実際の事例では、出荷豚運搬車両の配送順変更等の対応が迅速に実施された。平成6年に隔離豚舎での検査を開始して以降、現在に至るまで確定検査で陽性となった事例はない。

#### 【まとめ】

A地域は、衛生管理の徹底、ウイルス動態の把握および適切なワクチン接種指導により、清浄化を達成した。B地域は、自衛防疫組織の取組を支援し、検疫体制の構築、モニタリングおよび迅速な情報共有を主導することにより、清浄性が長期間維持されている。今後も飼養衛生管理の啓発やモニタリング検査により、陰性維持と地域防疫の拡充に努めていきたい。

## <参考資料>

### 家畜衛生関係手数料

#### 1 新潟県手数料条例に基づく関係手数料

(令和8年4月1日現在)

##### (1) 家畜検査手数料

区分		対象家畜	手数料単価
ア 検査	ヨーネ病	牛	月齢6か月未満 520円
		牛	月齢6か月以上 700円
	伝達性海綿状脳症	牛	焼却しない場合：6,800円
		牛	焼却する場合：35,000円
	結核	牛	350円
	ブルセラ症	牛	350円
	ピロプラズマ症	牛	470円
	家きんサルモネラ症 (ひな白痢)	鶏	70円
	オーエスキー病	豚	880円
腐そ病	蜜蜂	170円	
イ 注射	豚熱	豚及びいのしし	330円
ウ 証明書	家畜の検査、注射、薬浴、投薬証明書の交付		300円

##### (2) 動物用医薬品・高度管理医療機器販売業関係手数料

区分	手数料単価
販売業等許可申請	29,000円
販売業等許可更新申請	12,200円
販売従事登録申請	7,600円
販売業等許可証書換え交付	2,200円
販売業等許可証再交付	3,100円

##### (3) 家畜人工授精関係手数料

区分	手数料単価	
家畜人工授精師養成講習	40,000円	
家畜人工授精師免許申請	1,800円	
家畜人工授精師免許証書換え交付	1,700円	
家畜人工授精師免許証再交付	1,700円	
家畜人工授精所開設許可申請	5,700円	
家畜人工授精所開設許可書換え交付	1,700円	
家畜人工授精所開設許可証再交付	1,700円	
牛受精卵移植 手数料	過剰排卵処置	19,100円
	受精卵の採取	13,300円
	受精卵の凍結保存	8,700円
	受精卵の移植	8,600円

#### 2 新潟県家畜保健衛生所の家畜衛生検査手数料規則に基づく手数料

- (1) 家畜共済点数表(A欄)の点数に10円を乗じた額
- (2) 知事認定獣医師が注射する豚熱予防液の管理にかかる手数料の額は1件につき60円
- (3) (1)の検査手数料により難しい検査の手数料

区分	手数料単価
月齢が6か月以上の牛のヨーネ病検査	770円
豚のオーエスキー病検査	860円
サルモネラ検査	4,200円
病原性大腸菌O-157検査	4,200円
豚丹毒検査	290円
遺伝子検査	2,000円
衛生検査証明書の交付	300円

管内家畜飼養状況(令和8年2月1日現在)

	乳用牛				肉用牛				豚				採卵鶏(種鶏、雛を除く)				ブロイラー			
	飼養戸数	対前年比%	飼養頭数	対前年比%	戸当たり頭数	飼養戸数	対前年比%	飼養頭数	対前年比%	戸当たり頭数	飼養戸数	対前年比%	飼養頭数	対前年比%	戸当たり頭数	飼養戸数	対前年比%	飼養羽数	対前年比%	戸当たり羽数
中越家保管内	27	93.1	1,168	90.2	43.3	30	100.0	2,128	95.9	70.9	25	100.0	32,643	102.8	1,360.1	2	100.0%	162,981	100.1	81,490.5
長岡市	8	88.9	255	77.3	28.1	15	107.1	1,485	96.3	110.1	4	100.0	4,831	105.7	1,142.8	-	-	X	X	X
出雲崎町	1	100.0	X	X	X	-	-	-	-	-	1	100.0	X	X	X	-	-	-	-	-
小千谷市	1	100.0	49	X	X	4	100.0	204	87.9	58.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
柏崎市	1	100.0	X	X	X	1	50.0	X	X	X	-	-	-	-	-	2	100.0	251,820	1.6	125,910
刈羽村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
魚沼市	8	88.9	268	84.0	33.5	1	-	X	X	X	3	100.0	2,468	101.2	812.7	-	-	-	-	-
南魚沼市	3	100.0	214	109.7	71.3	3	75.0	292	99.7	73.3	1	100.0	X	X	X	-	-	-	-	-
湯沢町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
十日町市	1	100	X	X	X	3	100.0	60	101.7	19.7	6	100.0	10,687	106.5	1,672.7	-	-	-	-	-
津南町	3	75	275	112.2	91.7	3	100.0	77	97.5	26.3	10	100.0	12,626	98.0	1,288.2	-	-	-	-	-

※ 採卵鶏とブロイラーは10,000羽以上の養鶏場のみ掲載

X 農場数が1戸の場合は頭羽数を記載しない



